

1 基本情報

施設名称	大阪市立生野区老人福祉センター
施設所管課・担当	福祉局高齢者施策部高齢福祉課（電話：06-6208-8054）
条例上の設置目的	高齢者に関する各種の相談に応じ、高齢者に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与するとともに、高齢者の地域福祉活動を支援することを目的とする。
業務の概要	高齢者の生活に関する相談・高齢者の健康の増進及び地域福祉活動に関する情報の収集及び提供・講演会、講習会及び教養講座の開催・高齢者のレクリエーション活動の機会の提供・高齢者の地域福祉活動その他自主的活動の支援。
成果指標	①センター利用者向け実施する満足度調査で、「満足（やや満足）と回答される方」の割合 ②センターの延べ利用人数 令和2年度～令和4年度の年間利用人数の平均以上 ③センターの登録人数 令和2年度～令和4年度の年間登録人数の平均以上
数値目標	①85.6%以上(26ある老人福祉センターで実施(令和2年度～令和4年度)したアンケートの平均) ②14,494人以上（当センターの令和2年度～令和4年度の年間利用人数の平均） ③304人以上（当センターの令和2年度～令和4年度の年間登録人数の平均）
指定管理者名	社会福祉法人大阪市生野区社会福祉協議会
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	満足（やや満足）と回答される方の割合	センターの延べ利用人数	センターの登録人数
数値目標	85.6%	14,494	304
年度実績	92.0%	24,058	502
達成率	107.5%	166.0%	165.1%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	24,058	22,304	1,754

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績-計画）	主な要因
業務代行料	実績	20,517,410	19,788,700	0	—
	計画	20,517,410	19,788,700		
利用料金収入	実績	0	0	0	—
	計画	0	0		
その他収入 (自主事業収入)	実績	110,740	89,580	110,740	—
	計画	0	0		
合計	実績	20,628,150	19,878,280	110,740	—
	計画	20,517,410	19,788,700		

支出		当年度	前年度	差異（実績-計画）	主な要因
人件費	実績	12,465,167	14,801,910	-1,464,833	—
	計画	13,930,000	14,900,000		
物件費	実績	6,641,133	5,076,370	53,723	—
	計画	6,587,410	4,888,700		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	0	0	0	—
	計画	0	0		
合計	実績	19,106,300	19,878,280	-1,411,110	—
	計画	20,517,410	19,788,700		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
アンケート調査で「満足（やや満足）と回答される方」の割合	107.5%	B	講座・イベントなどの定員数を増やしたり、男性利用者の増加に向けた取り組みを実施したり等、工夫しながら実施していく中で、本市が定める水準を達成している。
センターの延べ利用人數	166.0%	S	講座・イベントなどの定員数を増やしたり、男性利用者の増加に向けた取り組みを実施したり等、工夫しながら実施していく中で、本市が定める水準を大幅に超える成果があった。
センターの登録人數	165.1%	S	講座・イベントなどの定員数を増やしたり、男性利用者の増加に向けた取り組みを実施したり等、工夫しながら実施していく中で、本市が定める水準を大幅に超える成果があった。

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・印刷物の裏面利用。 ・こまめな節電及び空調温度の適温管理。	B	施設の老朽化による維持管理コストの増加があったが、裏面利用や節電・節水などの取り組みを行うなど、市費の縮減に努めた。

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	・建築物や設備の法定点検を適切に行っている。 ・利用者も参加する消防訓練を複数回実施することにより利用者の安全管理を図っている。
事業計画の実施状況	B	・昨年度に引き続き、演芸会や文化祭などのサークル活動発表の場を設け、モチベーションの向上につなげた。 また、人気がある講習は利用者と話し合い、サークル化を進めていくなど工夫しながらセンター運営に努めている。
施設の有効利用	B	・警察署と連携し、事故防止啓発として交通安全講習、防犯講習等の実施、保育所との世代間交流事業などの地域関係団体等と連携している。
社会的責任・市の施策との整合性	B	・個人情報保護規定などを定め、個人情報の保護を行っている。 ・環境保護対策として、裏面利用や節電・節水など実効性のある取組を行っている。

5 利用者ニーズ・満足度等

（1）調査方法

センター利用者に対してアンケート調査を実施

（2）回答者206人（未記入者含む）

（3）質問項目

ア 基本的な事項（年齢、居住区等）

イ 満足度

ウ 電子機器等で学びたい内容、やりたい活動

（4）結果

・総合満足度において、満足（やや満足）と回答される方が92.0%となっており、利用者の満足度は非常に高い。

6 外部専門家意見

1.男性の利用者の割合が多いことは評価できるため、さらに工夫を重ねて、積極的に男性利用者の増加を目指していただきたい。
2.60歳代の利用者について、利用者個人の個性に応じて、個別に働きかけていくことによって、主体的に企画段階から事業に関わっていかるように養成することが、利用者の社会参加に繋がっていくので、工夫して取り組んでいただきたい。
3.センターによりQRコードを追加し、ホームページで事業報告などが、簡単に見られるような仕組みを検討していただきたい。また、講座の申込・抽選・結果発表に、LINEのQRコードを利用するなど、平等利用の観点のみならず、より効率的な方法を検討していただきたい。
4.自転車でのセンター利用者も多いことから、引き続き警察との連携を図られ、センターの環境に合わせた安全対策を講じるよう検討するとともに、これまで以上に啓発活動に力を入れていただきたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	S	講座・イベントなどの定員数を増やしたり、男性利用者の増加に向けた取り組みを実施したり等、工夫しながら実施していく中で、事前に設定した目標を大幅に超える成果があった。
管理経費・市費の縮減	B	事業計画に基づき、効率的に管理運営を実施。
管理運営の履行状況	B	利用者がセンターで楽しむだけではなく、地域でも活躍していただけるように、センターの運営を行った。
総合評価	B	本市が期待する管理運営を行った。